

学習コンテンツを活用した「1時間の家庭学習スタイル」(例)

5分	1 動画を見る (例: NHK for school) ① 動画の説明文を読み、動画の内容を大まかに理解する。
5分	② 動画を見る。
10分	③ 分からなかったことがあったときは、教科書を見て確かめたり、動画を改めて見直したりする。
15分	2 問題に取り組む 「東京ベーシック・ドリル」などのドリル教材の問題に取り組む。
5分	3 答え合わせをする 答え合わせをし、間違えた問題は正しい答えを赤で書く。
10分	4 見直しをする 間違えた問題は、教科書を見たり動画を見直したりして、なぜそのような答えなのかを理解する。 理解できない問題は、付せんを貼り、臨時休業終了後に先生に聞く。
10分	5 まとめをする ドリル教材の空いているところに、動画を見た感想や気付いたことを記入する。

● 家庭学習例(1)の具体的な事例

(動画教材) NHK for school

小3理科「電気が流れるつなぎ方」の動画を見る。

(ドリル教材) 東京ベーシック・ドリル

小3理科「9-1 電気の通り道」の問題に取り組む。

○関連付けられた動画とプリントで学習を進めていく。

動画教材

教科書を見ながら動画を視聴することで、学習内容をより深く理解することができる。

【コンテンツ名】 **NHK for school**

【教科等】

- <小学校> 社会、算数、理科、生活、体育、図画工作、家庭、英語、道徳、総合的な学習の時間
<中学校> 社会、理科、技術、総合的な学習の時間

ドリル教材

動画を視聴した後に、学習したことが理解できたかどうかを確認するための問題に取り組み、学習内容の定着を図る。

【コンテンツ名及び教科等】

東京ベーシック・ドリル

小1～中1：国語、算数・数学、社会、理科、英語

児童・生徒の学力向上を図るための調査

小5・中2：国語、算数・数学、社会、理科、英語

都立高校入学者選抜 学力検査

中3までの学習内容：国語、社会、数学、理科、英語

全国学力・学習状況調査

小6・中3：国語、算数・数学、理科、英語

【掲載箇所】

東京都教育委員会「学びの支援サイト」内にリンクを掲載